

■事務局からのお知らせ

「令和 2 年度 定時総会」につきましては、当初 6 月 2 日を予定しておりましたが、政府による緊急事態宣言が継続されているため、通常の定時総会ではなく書面による議決を行う方向で調整しております。

総会関連のお知らせは本メールマガジンの他、ご登録のご担当者にもメール等にてご案内申し上げます。

また、あわせて当協議会ホームページにも総会関連のご案内を掲載致します。

■リサイクルポートに関連する最新の情報

【港湾空港タイムス 04 月 27 日号から編集分】

1. 姫路港広畑地区岸壁で事業化検証調査

兵庫県が姫路港広畑地区の貨物取扱量増加等に対応して直轄事業要望していた水深 14m 岸壁 1 バースの整備に、令和 2 年度事業化検証調査費が計上された。近畿地方整備局神戸港湾事務所では今年度、費用対効果分析調査や土質調査、基本設計調査などを進め次年度以降の事業化への可能性を探る。

姫路港広畑地区は日本製鉄の生産拠点となっているほか、近年は新たな企業進出や設備投資が旺盛で取扱貨物量も増えている。広畑地区の大水深公共バースは水深 14m 岸壁 2 バース（延長 2 6 0 m × 2 B）が港湾計画に位置付けられており、現状はそのうちの 1 バース延長 2 8 0 m として供用している。

姫路港広畑地区公共ふ頭の背後には、バイオマス発電（大阪ガス系、2 0 2 3 年発電開始予定）、ダイハツディーゼル新工場進出（平成 29 年）、三菱電機新工場稼働（同）、ダイセル新工場稼働（平成 24 年）などの企業進出が相次ぎ貨物が増加している。

2. 大分港大在西部地区複合一貫輸送ターミナル＝施工検討業務の手続き

九州地方整備局別府港湾・空港整備事務所は、大分港大在西部地区に計画している RORO 船の大型化等に対応する複合一貫輸送ターミナル整備事業が令和 2 年度の新規事業として予算化されたことを受け、4 月より施工検討業務の手続きに入っている。施工工程や経済的な施工法などについて検討する。同岸壁は耐震強化のマイナス 9 m 岸壁延長 2 4 0 m（第 1 バース）、同 2 2 0 m（第 2 バース）が連続する 2 バースからなっており、現在は基本設計等も別途作業中で、年度内の工事着手を予定している。

計画している複合一貫輸送ターミナルは既設護岸の前面に重力式構造として想定しており第 1 バースは令和 5 年度、第 2 バースは令和 8 年度の供用を目指している。

3. 長崎県五島市沖浮体式洋上風力で促進区域公募占用指針案公表

経済産業省と国土交通省は4月17日、「長崎県五島市沖海洋再生可能エネルギー発電設備整備促進区域公募占用指針（案）」を公表し、意見募集を開始した。浮体式洋上風力発電の導入に向け、再エネ海域利用法に基づき、「促進区域」の第1弾として指定された長崎県五島市沖の事業要件、評価基準等を記載している。意見募集は電子政府の総合窓口「e-Gov」で行っており、期間は5月16日まで。経産省と国交省では募集した意見を踏まえ、指針のとりまとめ・公示を行い、事業者からの公募占用計画の提出を受け付ける。

=====

【港湾空港タイムス 05月11日号から編集分】

1. 港湾局、港湾の防災・減災対策の検討委最終とりまとめ議論

国土交通省港湾局は4月23日、「港湾等に来襲する想定を超えた高潮・高波・暴風対策検討委員会ハード施策検討WG・ソフト施策検討WG合同会合」をWEB会議にて開催した。事務局が「自助」「共助」「公助」が一体となった総合的な防災・減災対策等の推進の方向性、具体的施策を示した「最終とりまとめ（案）」を提示し議論した。地震・津波・高潮に加え高波や暴風も考慮する必要があるとし、5つの課題に対応する具体的なソフト・ハード施策を示すこととしており、今回の検討結果を踏まえ、近く公表する予定。

2. 舞鶴港国際ふ頭の第2バース、今年度事業化検証調査

近畿地方整備局舞鶴港湾事務所は、令和2年度予算で舞鶴港国際ふ頭の第2バースについて事業化検証調査費が認められたことから、次年度以降の事業化に向け費用対効果分析や基本設計等の調査に着手する。

舞鶴港国際ふ頭は外貿コンテナやバルクを取扱っており、現状では第1バースとして水深14m延長350mが機能している。ただ船型の大型化や取扱い貨物の増加などから岸壁不足が顕在化しており、現状の港湾計画に位置付けられている第2バースの事業化準備を始める。第2バースは水深14m延長210mとして計画しており、整うと水深14m岸壁2バース総延長560mが機能することになり、大型船の2隻同時接岸など、舞鶴港の外貿機能が大きく前進する。

3. 神戸港第5防波堤東側本体撤去、今年度に必要区間を完了

近畿地方整備局神戸港湾事務所は今年度事業として、神戸港第5防波堤撤去工事の発注を挙げている。25億円以上30億円未満工事。第2四半期の入札を予定している。工期は約8ヶ月。同工事により過年度から実施中の同防波堤の撤去が必要な区間は完了する。

神戸港第5防波堤は神戸港航路の変更計画、並びに大阪湾岸道路西伸部計画に伴い、防波堤延長約1.2kmのうち西側の約500m（既設ケーソン個数にして39函）を撤去することになっている。



発行者：RPPC 広報部会

部会長：新谷 聡 りんかい日産建設（株）

部会員：丸岡 裕人 日本製鉄（株）

友歳 巖 五洋建設（株）

川田 延也 東京都

齋藤 憲雄 山形県リサイクルポート情報センター

リサイクルポート推進協議会 事務局

一般財団法人みなと総合研究財団（内） 担当：押田、清水、安田

URL: <http://www.rppc.jp/> E-mail: rppc_jimukyoku@wave.or.jp

////////////////////////////////////

■会員主催や会員に関係した催し物（セミナーなど）の情報がありましたらご連絡ください。

開催案内等の情報をメルマガで配信致します。

■メルマガ配信先に変更がある場合、事務局までご連絡ください。

■メルマガに関するご意見、ご要望がありましたらご連絡ください。